

9. 仕上げ材で白木(しらき)の養生について。柱類では上級な工事では、白布又は堅紙を巻いて(ハترون紙を多く使う)汚損しないように養生した。又は一般的には紙張り(厚めの和紙)や板囲いなどで養生する。張り付け用糊には、海苔(いのり)がよく用いられた。化学糊や糊付テープ類を使用しないこと。木肌をいためやすい。養生材を撤去したら水洗いや水ふきする。薬品を使って汚れ落すのは、却て木肌の光沢を失ったり後日化学変化を起しやすいから使用しないこと。
10. 造作作業中は、造作材で水洗いや水ふきがむずかしいか所の場合は、特に手あか(指紋)などが付くと、年月がたつにつれその汚れ(指紋)が目立ってくるから、造作材の取付け、天井樫・天井板張りなど、外部では軒裏化粧材などでは特にきれいにし、再々手洗いをする等、化粧材を汚さないこと。